

写真. 鶏糞の回収、重量測定の様子



図1. 地域別耕地面積



いしている。
また、コストの上昇を少しでも抑えるため、鶏糞低減飼料に変えるタイミングで低CP化や、銘柄の変更を提案させていただく事もある。
大切なのは、鶏糞の低減や鶏糞低減飼料を使用してもらう事ではなく、農場全体での鶏糞に関する

る経費を削減してもらう事である。鶏糞低減飼料はあくまでもそのための選択肢の1つと考えている。
今後より効率的な農場運営に役立てるよう、鶏糞低減飼料の安定的な供給と生産コストの低減に向け、更なる飼料の改良を進めていく。

図2. 鶏糞低減飼料の給与効果

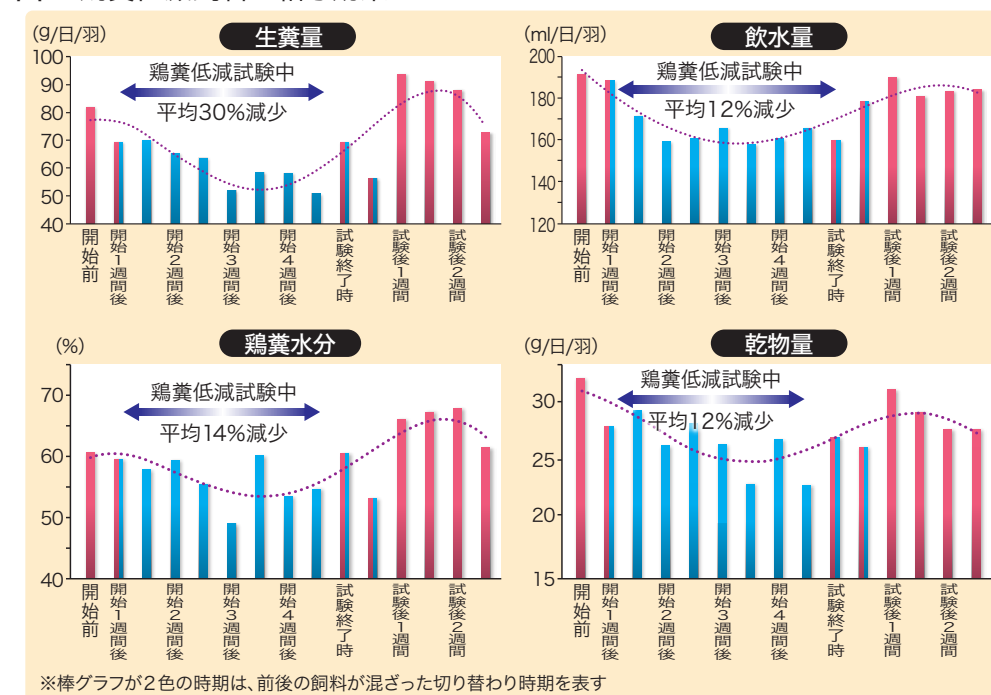


図3. 西日本エリアにおける鶏糞低減飼料出荷量

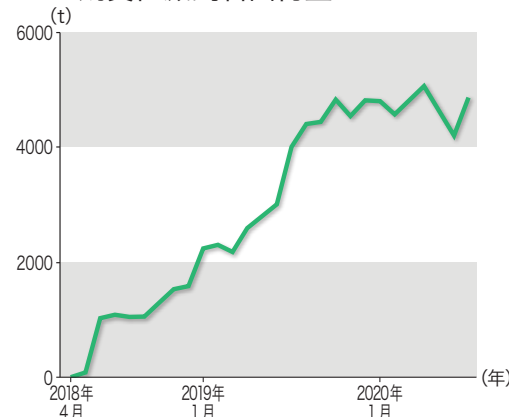


図4. 農場別利用状況とコメント

農場	状況	コメント
A農場	2018年4月以降継続供給	生糞で20~25%減少、汚卵も減少傾向
B農場	2019年1月以降継続供給	鶏糞が固くなった印象
C農場	2018年6月以降継続供給	生糞で20%減少
D農場	2018年11月以降低CP化によるコスト低減とあわせて継続供給	生糞で15~20%減少。鶏糞性状が扱いやすくなった
E農場	2019年2月以降低CP化によるコスト低減とあわせて継続供給	生糞で15~20%減少
F農場	2019年1月以降継続供給	生糞で20%減少。飲水量と鶏糞の質が変わった
G農場	2019年1月以降タンパク原料見直しによるコスト低減とあわせて継続供給	生糞で15~20%減少
H農場	2019年6月以降継続供給	高CPでは鶏糞が固くなった。低CPでは変わらなかった
I農場	2020年1月以降継続供給	高床鶏舎のため効果が分かりにくい、継続希望
J農場	2018年11月でコスト面から供給中断	鶏糞が固くなった印象



鶏糞低減飼料の広がり

鶏糞量を減らし、生産コストを下げる

本誌114号、119号で紹介した「採卵鶏用の鶏糞低減飼料」。当初は北日本エリアを中心に普及が進み、その後、全国的な広がりを見せている。特に中国・四国地域を中心とした西日本エリアでの普及が進んでいる事から、今回は西日本エリアでの活用事例を紹介する。

全国的に広がる鶏糞低減飼料

2017年頃より、JA全農北日本くみあい飼料(株)にて、鶏糞低減飼料への本格的な取り組みが始まった。多くの農場で野外試験を実施、飼料内容の見直しを繰り返し行い、発売以来、出荷量は増加してきた。現在では、同社の採卵鶏飼料のうち約30%が鶏糞低減仕様となっている。

当然の事ながら、鶏糞処理の問題は、北日本エリアにとどまらず、全国的な課題となっている。鶏糞の海外輸出やコンポストの活用などを進める一方、鶏糞低減飼料が採用されるケースも増え、全国へ広がっている。

図1は地域別の耕地面積を示したもののだが、特に、山間部が多く耕地面積が広いとはいえず、堆肥の需要が少ない中国・四国地域を中心とした西日本エリアでは、鶏糞低減飼料の需要が大きくなってきている。

鶏糞低減飼料の給餌実験

JA西日本くみあい飼料(株)では、先行開始していた北日本エリアや、全農飼料畜産中央研究所のデータを活用し、18年より鶏糞低減飼料の野外試験の提案及び実施を開始した。初期の試験では、3~4日ごとに、鶏舎の決められた区画の鶏糞を回収し、通常飼料から鶏糞低減飼料への切り替わり期間とその前後の鶏糞状況を確認した(写真)。ある農場の試験では、鶏糞低減飼料の給与期間

で顕著に生糞量が減少するとともに、飲水量及び糞中水分含量についてもはっきりとした減少効果が見られた(図2)。水分含量が減る事で、その後の堆肥処理がしやすくなったという農場担当者のコメントもあった。また、水分含量だけでなく乾物量の減少も確認できたことから、堆肥発生量もしつかりと減少させる事ができている。

その後も試験を繰り返す中で、夏場の影響調査や、コスト低減の検討、使用原料の選定を行い、より使いやすい形の鶏糞低減飼料体系を確立し、本格的な販売を開始した。

発売以降、北日本エリアと同様に出荷量は大きく増加し、現在では月間5千t弱が鶏糞低減飼料となっている(図3)。ほとんどの農場で効果を実感していただき、コスト面での増加はあるものの継続して利用していただいている(図4)。高床鶏舎で、除糞の頻度が少ない場合は効果を実感しにくいという意見もあるが、実際に鶏糞サンプルを取り、重量や水分を測定する事で効果を数値として実感してもらった場合もある。

コストを少しでも抑えるために

鶏糞低減飼料を継続採用するかどうかの大きなポイントとして、費用対効果の問題がある。鶏糞低減飼料は、消化性の良い原料を組み合わせ、飼料用酵素を活用する事が多いため、価格が増高する。採用の際は、この価格増高分と鶏糞が減る事のメリットを比較してもらったうえで検討をお願い